

2013-14ワイズメンズクラブ六甲部 次期活動方針・計画(案)

(事業主査用)

1.事業名: EMC事業

2.主査氏名: 小野 勅紘(ともに)

クラブ名: 西宮クラブ

3.主査主題:

一人ひとりがワイズの伝道者! 友達の輪を広げよう!

5か年計画で「六甲部200」を達成しよう!

「自分自身を愛するように、隣人を愛しなさい。(レビ記19章18節)」

「愛を込めて普通のことを

しまししょう。(マザー・テレサ)」

4.活動方針:【目標値】「六甲部200」計画 過去の入退会の傾向に学ぶ! <第3回修正案>

六甲部増員目標: 55名以上/5か年 (入会110名以上/5か年 - ドロップ55名未満/5か年)

六甲部増員目標: 11名以上/年 (入会22名以上/年 - ドロップ11名/年未満)

各クラブ増員目標: 3名以上/年クラブ (入会3名以上/年クラブ) - (ドロップ1名未満/年クラブ)

各クラブノドロップ目標: 1名未満/年クラブ (入会3名以上/年クラブ) - (ドロップ1名未満/年クラブ)

個人生涯目標: 1人が1人を連れてくるセンス(タルマス前国際書記長の横浜国際大会でのアピール)

- (1)「六甲部200」達成のためには5年間で現有145名に55名を増員する。5年間で108名を増員する。5年間でドロップを55名未満に抑える。各クラブ年に2.75名以上増員する。各クラブで年にドロップを1.375名未満に抑える。増員の上で新クラブエクステンションに繋げる。(EPJ)
- (2)増員を促進するために、過去の入会動機などを調査し、水平展開を図る。(PDCAに従って計画)
- (3)ドロップを抑制するために、過去の退会動機を調査し、阻害要因を除外する歯止対策を講ずる。
- (4)「六甲部200」のために、各クラブならびに六甲部EMC事業委員会の連携を図り、例会を充実。

5.活動計画:

- (1)過去の入退会の傾向を調査し、「ワイズ必携」P.133の「フィッシュ・ボーン」を完成し、PDCAサイクルを回し、増員要素を促進し、阻害要因を除外する対策を講ずる。
- (2)EMCシンポジウムと六甲部EMC事業委員会を開催し、各クラブ、各メンバーの意欲を促進する。第一回評議会に併せて開催(7月)。YYフォーラムに併せて開催(1月)。第2回評議会に併せて開催(3月)。西日本区大会までに開催し纏め。必要に応じて可能な場合随時開催。
- (3)例会を充実させる前提条件としての出席率の向上。各クラブ年間累積出席率90%以上を目標。メイクアップの普及促進。(例会終了後、欠席者にメイクアップの紹介<例:プリテン送付に添付>)メイクアップ利用の向上。可能イベントの紹介と、クラブ間訪問を促進する。
- (3)六甲部ホームページ活用によるEMC事業の普及促進。毎月の実績と各クラブEMC活動の紹介。現状の把握、早期の対策実施、各クラブEMC活動の紹介(入会式への立会と掲載含む)
- (4)入会パンフレットの利用に併せて、名刺作戦。(ワイズの紹介を名刺裏に入れて説明を簡略化)名刺利用サンプルをホームページに掲載して利用促進を図る。(内容充実を図る投稿歓迎)
- (5)六甲部EPJチームとの連携。(エクステンションより各クラブの充実を優先する。)
- (6)神戸YMCAユースリーダー会(ランチ含む)へのアピール。(オリエンテーション、卒業記念礼拝、OBOG会他)
- (7)各クラブ例会への参加を促進し、各クラブEMC計画への支援と参画。

6.その他の計画・特記事項:

- (1)入会動機・退会動機調査のフィッシュ・ボーン(未完成のため、早々に調査しデータ化して普及する)
- (2)EMC調査結果は3か月おきに報告するが、六甲部は毎月調査しHPに現状を掲載して鼓舞する。

以上